

平成24年度安全重点施策の取り組み

1.安全管理体制の強化	⇒P.20
<ul style="list-style-type: none"> ● 社長、安全統括管理者の巡視による積極的な社員との意見交換の実施 ● 保安監査、安全マネジメント監査、内部監査および現場パトロールの実施 ● 鉄道安全大会をはじめとする安全マネジメント教育の実施 ● 事故や災害を想定した訓練の実施 ● 事故分析能力および安全意識の向上とリスク情報の分析・活用による事故の未然防止 ● 「ヒヤリ・事故の芽」活動による事故の芽の早期除去 	
2.走行中の列車の安全性向上	⇒P.24
<ul style="list-style-type: none"> ● 新型ATSシステムの構築 ● 列車防護無線の設置 ● 電車線のき電吊架化 ● 軌道・分岐器(ポイント)の改良 	
3.駅の安全性向上	⇒P.26
<ul style="list-style-type: none"> ● ホーム異常通報装置の新設 ● 列車監視用ITV装置の改良 ● ホーム改良工事の実施 	
4.車両の安全性向上	⇒P.27
<ul style="list-style-type: none"> ● 運転状況記録装置の全車両への設置 ● 衝突時の安全性などを向上した13000系車両の新造と8000系車両のリニューアル 	
5.踏切の安全性向上	⇒P.28
<ul style="list-style-type: none"> ● 踏切に全方向型踏切閃光灯、踏切支障報知装置などの設備設置 	
6.火災・自然災害対策の推進	⇒P.29
<ul style="list-style-type: none"> ● 高架橋、電気施設等の耐震補強 ● 耐震設計した変電所の新設 ● 駅の防火防煙シャッター設置 	

平成25年度の安全重点施策の取り組みテーマについて

平成25年度は、次の3つを安全重点施策の取り組みテーマとします。

今回掲げている取り組みテーマは、「質の高い安全」を目指すために、自然災害、労働災害、コンプライアンス違反など、輸送の安全阻害につながる社内に潜む要因すべてを対象にしています。

1.ヒューマンエラーを減らす
<ul style="list-style-type: none"> ● 過去のエラーから得られた教訓が忘れられていないか、対策が形骸化していないか、他社の事故を他人事にしていないか、これらに重点をおいて取り組みます。
2.『社員の声』を聞く
<ul style="list-style-type: none"> ● エラーを減らすには、社員間のコミュニケーションが必要です。 社員が何を思い、何を考えているか、五感で把握することが重要です。
3.責任者は職責を自覚し、かつ実行する
<ul style="list-style-type: none"> ● 責任者・管理者は今一度原点に立ち返り、改めて自らの職責を確認し、行うべきこと、決められたことが本真になされているか、基本業務の総点検も併せて実施することで、質の高い安全を目指します。